

相模女子大学交流

農業体験を知事が視察

8月25日、相模女子大学との地域協働活動交流会が市内の大内農園（稲沢）で行われ、その様子を内堀県知事が視察しました。

今回、相模女子大学の学生5人が参加し、スプレー菊の収穫体験を行いました。内堀知事や谷崎相模女子大理事長、高松市長も一緒に菊の鎌を使い一苗一苗丁寧に菊の刈り取りをしました。その後、知事は、学生たちとナスやキュウリ、ズッキーニなどの野菜の生育を見学しました。相模女子大学の学生は8月から9月にかけて、3回に分けて本宮市を訪れ、農業体験を行いました。



菊の収穫を行う学生と知事

日本大学経済学部

市内で食の安全学ぶ



農産物検査の説明を受ける学生

8月6日から8日までの3日間、日本大学経済学部の学生20人が市内の各施設を巡り、食の安全について学びました。

福島特定原子力施設地域振興交付金事業「地域協働活動から学ぶ風評被害と対策」と題し、放射能除染・モニタリングセンターで農産物の検査、空間線量の測定を体験したほか、除染仮置場や全量全袋検査場などを視察しました。また、市内農場で農業体験を行い、夜は農家民宿に宿泊し地元野菜に舌鼓を打ちました。

上尾市総合防災訓練

支援物資供給訓練に参加

8月23日、災害時相互応援協定を結ぶ埼玉県上尾市で総合防災訓練が行われ、本宮市と本宮市消防団が訓練に参加しました。

会場の上平北小学校では初期消火訓練や人命救助訓練、炊き出し訓練など多くの訓練が行われ、本宮市と本宮市消防団は緊急物資供給訓練を行いました。本宮市からは避難所へ支援物資が、本宮市消防団からは人命救助などで使用するチェーンソーやエンジンカッター、油圧カッターなどが届けられました。

本宮市と上尾市の災害時の連携協力をより強固にする訓練になりました。



支援物資を上尾市に届ける本宮市と本宮市消防団

百歳賀寿

3人が百歳を迎えました



8月12日、百歳を迎えられた渡辺邦造さん



9月8日、百歳を迎えられた佐藤マサ子さん

8月から9月にかけて、市内の3人の皆さんがめでたく満百歳を迎えられました。

8月12日には渡辺邦造さん（関下）が、9月8日には佐藤マサ子さん（本宮）、9月9日には鈴木チトセさん（荒井）がそれぞれ誕生日を迎えられ、百歳賀寿の贈呈式が行われました。ご家族の皆さんが見守る中、県知事賀寿と市長賀寿・祝金・記念品が贈られました。高松市長をはじめ多くの来賓の皆さんからお祝いの言葉がありました。

社会人軟式野球

上尾市チームと交流試合

9月6日、しらさわグリーンパーク野球場を会場に、本宮市選抜チームと上尾市軟式野球チーム「雷電」の交流試合が行われました。試合は、0対3で上尾市チームが勝利しました。試合終了後には、地元アサヒビール園で懇親会を行い、両チームの親睦を深めました。

また、開会式では、19日より始まる市町村対抗福島県軟式野球大会に向け、本宮市選抜チームに新ユニフォームが贈呈されました。



野球を通して交流を深める両チーム

もとみや夏まつり

伝統の舟こぎ競争が開催

8月16日、もとみや夏まつりのイベントとして消防団伝統の舟こぎ競争が実施されました。阿武隈川太郎丸地内から中の橋までの第一レースは、白沢船舶1部が優勝しました。中の橋から約1.5キロメートルをこぐ第二レースでは、本宮第7分団が春夏連覇を果たしました。



白熱したレースが展開された舟こぎ競争

監査委員

川名正勝さんを選任

8月6日招集の本宮市議会臨時会で選任の同意を得た川名正勝さん（本宮）に、8月7日付けで市長から監査委員の辞令が交付されました。

川名さんの任期は、平成31年7月31日までです。



監査委員
川名正勝さん

東京もとみや会通信 その5

『本宮市民大学』の夢

本宮市民の心豊かな生きがいを目指して、生涯にわたり学ぶことのできる「本宮市民大学」を夢見ています。組織運営には本宮市民があたり、講師には本宮にゆかりのある方で、「腕に覚えあり」あるいは「専攻分野の専門家」の方をお願いするのも一案かと思えます。生徒は本宮の市民ならどなたでも可として、希望の講座を受講し、卒業は自己申告としたいです。

講座の目的は、本宮の遠い昔から培われた伝統文化を継承し、あるいは埋もれた文化を掘り起こし、本宮の手づくりの文化を今盛んにして、後世に伝えることも主としたいです。また、地域の山林田畑河川の自然から風力水力を学び、山の幸、川の幸の生活活用に努め、本宮社会の生活文化を支える人材を育てたい。近未来の本宮市を開拓する人材育成の一助になればと考えています。

入会およびお問い合わせは、下記「東京もとみや会」事務局へ
千葉県柏市南逆井6-3-13 野地 博 ☎04-7175-0517 E:メール hiroshi-nj@jcom.home.ne.jp



東京もとみや会 理事
高松ゆたかさん

こんにちは！市長です vol. 36



本宮市長
高松 義行

「災害は忘れる前に やつてくる？」

皆さん、こんにちは。
台風18号の影響による関東や東北地方の記録的な豪雨により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を市民の皆様と共に祈り申し上げたいと思います。

本市では9月20日に第3回本宮市総合防災訓練が、荒井運動場をメイン会場に実施されます。企業立地の進んだ荒井地区の地域特性を活かした訓練を想定とし、多くの市民の皆様に参加をいただきながら、関係機関と連携した総合防災訓練として実施し、災害に備えてまいりたいと考えております。「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉があります。昨今では、「災害は忘れる前にやってくる」と言ってもおかしくない状況にあります。災害時に一番大切なことは、自らの命は自らが守ることです。今回の訓練を通して、災害への対応を検証し、次に生かすことができれば幸いです。

さて、平成23年3月11日の東日本大震災から4年6か月の月日が経ちました。

故による原子力災害への対応は、今も継続して実施しております。現在、本宮地区の住宅除染が始まり、青田・岩根地区についても説明会を実施し、同意書の提出をお願いしているところです。住宅除染については、早期完了を目指して実施しております。また、農産物等の風評対策についても、さらなる安全・安心の確保に向け、市内外へのPRに積極的に取り組んでまいります。本宮市は着実に復興に向け前進しております。今後も引き続き、復興への取り組みを最優先に進め、「定住からはじまる 住みたいふるさと もとみや創生」を目指して、強い心で復興へのスピードアップを図ってまいります。

9月5日から30日まで市内11会場で敬老会が開催されております。すでに終了した地区もありますが、皆様の明るく元気な笑顔に接することができましたことは大変うれしく感じるとともに、私もたくさんの元気をいただきました。皆様には、益々健康で明るく元気にお過ごしくださいたいと思います。実行委員の方々に、関係者の皆様に感謝申し上げます。

日増しに秋の深まりを感じる今日この頃ですが、朝晩の気温の変化が激しく、風邪を引きやすくなる様々な体調が現れやすい季節であります。体調管理に充分ご留意のうえ、お過ごしください。

(9月16日執筆)